

「山口県人口ビジョン」 策定方針案

平成27年（2015年）2月

山 口 県

「山口県人口ビジョン」策定方針案

【策定の趣旨】

本県における人口の現状を分析し、県民と人口問題についての認識を共有するとともに、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を提示する。

I 人口の現状分析

人口問題の認識の共有に向けて、その基礎となる人口動向の変化、要因などについて現状分析を行い、現在の趨勢で推移した場合の将来人口の見通しを作成する。

1) 人口動向分析

- 総人口、年齢3区分別人口、出生数、死亡数、転入数、転出数などについて、時系列で状況を分析する。
- 性別・年齢階層別の地域間の人口移動の状況を分析する。
- 産業別の就業状況や雇用状況などについても分析を行う。

【論点】 市町が行う人口分析と別に、地域単位（東部、県央、西部、北部）での分析も行うかどうか。

2) 将来人口の見通し

- 今後も、現状の出生率が続く場合の「将来人口の見通し」を作成する。

II 人口の変化が本県の将来に及ぼす影響の分析・考察

現在の趨勢で推移した場合の将来人口の見通しに基づき、今後の人口変化が本県の将来に及ぼす影響等についての分析・考察を行う。

- 今後の人口変化が住民生活、地域経済などに及ぼす影響について分析・考察する。

【分析項目】（例） 県民の生活への影響 地域経済への影響
 県の実財政への影響 など

Ⅲ 人口の将来展望

人口減少の克服に向けて、今後、本県が目指すべき方向性と将来の展望を提示する。

1) 目指すべき将来の方向

- 目指すべき将来像と希望を実現するための施策の基本方向を提示する。☞ 国の長期ビジョンを踏まえ、当面、次の3点の基本方向を設定

【当面の基本方向】

- ① 「社会減の流れ」を断ち切る！
- ② 「少子化の流れ」を変える！
- ③ 「住みよい地域社会」を創る！

2) 将来展望に必要な調査・分析

- 将来の展望に向けて、必要な調査を実施し、分析する。

【調査】(例) 結婚・出産・子育てに関する意識・希望の調査
大学生の地元就職意識調査 など

3) 人口の将来展望

- 「目指すべき将来の方向」を踏まえた施策の効果を見込み、自然増減や社会増減に関する仮定を置いて、本県の将来人口を展望する。

【仮定】

- ① 自然増減 : 希望出生率の実現
人口置換水準の出生率の実現
- ② 社会増減 : 県外への人口移動の縮減

【論点】 出生率や移動率は市町によって大きく異なっており、各市町のビジョンとの整合性をどう確保していくか。

(参考)

山口県の将来人口の試算

